

2022年4月13日

2021年度 輸送実績（速報）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加え、8月の大雨に伴う山陽線等の不通、北日本地区で相次いだ雪害の影響を受け、積合せ貨物、紙・パルプ、化学工業品、化学薬品を除く品目で前年を下回った。

農産品・青果物は、北海道地区の夏季干ばつによる作柄不良に伴い玉葱や馬鈴薯を中心に大幅な減送となったほか、エコ関連物資は、建設発生土の輸送が7月に終了したため前年を下回った。自動車部品は、半導体不足および東南アジアからの部品調達困難等により各社が生産調整を行った影響で減送となった。食料工業品は、コロナ禍における需要低迷のほか、飲料等の現地生産化の影響を受け低調な荷動きとなった。

一方、積合せ貨物は、2021年3月および10月からのブロックトレイン運転開始等により増送となったほか、紙・パルプは、前年の大幅な減産の反動等により前年を上回った。コンテナ全体では、前年比98.1%となった。

車扱は、石油はコロナ禍に伴う外出自粛の影響により前年を若干下回ったものの、炭酸カルシウム等のその他品目が前年を上回り、車扱全体では前年比100.2%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比98.8%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	2021年度計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	18,485	18,838	98.1%
車扱	8,171	8,153	100.2%
合計	26,656	26,991	98.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,524	1,676	-152	90.9%
	化学工業品	1,613	1,600	13	100.8%
	化学薬品	1,272	1,230	42	103.5%
	食料工業品	2,906	3,027	-121	96.0%
	紙・パルプ	2,185	2,107	78	103.7%
	他工業品	1,268	1,348	-80	94.1%
	積合せ貨物	3,053	2,875	178	106.2%
	自動車部品	624	745	-121	83.7%
	家電・情報機器	314	330	-16	95.2%
	エコ関連物資	495	623	-128	79.5%
	その他	3,231	3,278	-47	98.6%
	コンテナ計	18,485	18,838	-353	98.1%
車扱	石油	5,544	5,563	-19	99.7%
	セメント・石灰石	1,360	1,360	0	100.0%
	車両	821	829	-8	99.0%
	その他	446	401	45	111.4%
	車扱計	8,171	8,153	18	100.2%
合計	26,656	26,991	-335	98.8%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)